

## 市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月1日（月） 14時00分～15時30分

場 所：つきみ野学習センター304講習室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：14人

### ○参加者からの意見等

#### 【意見】

- ・ つきみ野7丁目の交差点付近の歩道に自転車走行中止の標示が建った。
- ・ あの辺りは自転車走行用の線もないため、自転車が走ることができると分かる線を引いてもらえると安心して自転車に乗れるようになる。
- ・ つきみ野学習センター前に横断歩道があるが、車がなかなか停まってくれないので信号をつけてもらいたい。

#### 【市長】

- ・ 公共施設について、これまでシリウスやポラリスなど大きな事業を展開していたが、私は公園や道路など身近なところに目を向けて、順次、手を入れていく考えで、道路も優先順位をつけて取り組んでいるところである。
- ・ 横断歩道と信号は警察の所管になるため、所管課を通じて警察に要望をお伝えさせていただく。

#### 【意見】

- ・ 大和市は放課後寺子屋やまとや放課後児童クラブなど、充実している面はあるが、子ども達が、もっと気軽に立ち寄れる場所が欲しい。
- ・ 子ども達や若い世代が高齢者世代と気軽に交流できるような機会があると子ども達の可能性も広がり、大和市の将来にとってもすごく大事なことで考える。
- ・ 子ども達が主人公になって意見を表明できる、参加できる機会、子ども議会のようなものをつくってほしい。

#### 【市長】

- ・ 子どもの教育はとても大切であり、子どもたちには困難を乗り越える力を培って欲しいと考えている。
- ・ 放課後寺子屋やまとや放課後子ども教室、放課後児童クラブで体を動かすことやスポーツをすることについて検討している。
- ・ スポーツで体を動かし、しっかり食事を取り、その先の睡眠が基本であるので、そういった基本的なものを大和市の教育に取り入れていきたい。
- ・ 学校の先生だけでなく、放課後児童クラブの支援員も不足している。
- ・ 学校や児童クラブは、先生や支援員有資格者やそれに準ずるものを持っている方が対象となるが、そのことが人員不足を解消できない理由のひとつにもなっているため、大和市独自の研修制度を設けて、地域の方にお手伝いいた

だけのような大和スタイルを検討していきたい。

- ・ また、大人が決めたことを子どもにやらせるのではなく、子どもたちの発意も大切にしていきたいと思うので、ご意見については、関係する所管課と情報共有させていただく。

#### 【意見】

- ・ 特定分野に特異な才能のあるギフテッド児の困り感は、学校に理解されず申し出をしてもわがままと捉えられて、合理的配慮を得ることが難しい。
- ・ 多くのギフテッド児は孤立感を深めて自己肯定感を失い、不登校となり、社会からも切り離されてしまう。
- ・ ギフテッド児への理解がない先生も多いので、この状況を改善してほしい。
- ・ コロナ禍を経験してきた子どもたちは、コミュニケーション能力が低くなり、社会生活や学校生活に不安を抱えている子も多い。
- ・ 子どもたちの不安を取り除く、ウェルビーイングの気づきを与えるプログラムとして、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターが出している「勇者の旅プログラム」というものがある。
- ・ 地域で取り入れやすいものとなっており、メンタルを病んだ教職員にも役立ち、そのような教員の発掘にも繋がるプログラムでもあるとのことなので、是非大和市で取り入れて欲しい。

#### 【市長】

- ・ 現在、学校の教員や支援員、補助員が足りない状況であり、なかなか対応が難しい現状はあるが、自らの経験からも、そういったギフテッドのような子ども達の気持ちはよく分かり、何とかしてあげたいと思っている。
- ・ 心を病んで休職となっている教職員も多い状況もあるので、子どもと教職員を繋げて、よい方向にいくよう取り組んでいきたい。
- ・ ご意見については、関係する所管課と情報共有させていただく。

#### 【意見】

- ・ 難病により非常に高額な注射をしなければならなくなった。
- ・ 病院の書類を持って厚木保健福祉事務所大和センターに難病申請することになったが、保健所の建物が非常に古く場所も名称も分かりにくかった。
- ・ 市役所も含めて申請に必要な書類を様々な場所で取得して申請に行かねばならずとても大変だったので、鶴間駅周辺1カ所で済むように市役所や保健福祉センターの機能を移転し集約して欲しい。
- ・ 大和市役所の庁舎も他の周辺自治体と比べて古く見えるが、建て替えなどはしないものなのか。

#### 【市長】

- ・ 市の庁舎は建設から50年程度経過しており、10年後を目途に建替えも検討していけたらと考えている。
- ・ 保健所は県の管轄ではあるが、将来的に集約することも考えている。

- ・ 公共施設は、市民が利用しやすく、理解を得られるような形で更新や維持管理をしていきたい。

#### 【意見】

- ・ 何年も前の話だが、市立病院に行った際、「支払い困難な方はご遠慮ください」というような市民に寄り添わないような掲示がしてあり、市が市民にそのような対応をしていいのかと驚くようなことがあった。
- ・ ある市議会議員は税金がなんのために集められているのか理解していないようであり発言を聞いていても疑問を感じる。
- ・ 市議会議員だけでなく、国会議員も含めて日本の政治のレベルがとても低くなっており、大和市の議員もまず議論の仕方を市の職員と一緒に勉強した方が良いと感じている。
- ・ コミュニティバスについて、高齢者は無料にして欲しい。

#### 【市長】

- ・ 市立病院にはしっかりとそのような対応をしないよう伝える。
- ・ 職員には市民にお客様として紳士的に丁寧に接するようにと言っている。
- ・ 職員の対応に問題がないのに揉めてしまった時には、カスタマーハラスメントとして職員を守るということも出てくる。
- ・ 議員の資質について、今の選挙制度の中で立候補者がどういう人かということを見極めるのは難しい面もあるが、ご意見については、議会事務局に情報提供させていただく。
- ・ コミュニティバスは市民にとって重要なものであり、高齢者にとっては外出の機会の創出により健康に過ごすことにも繋がるので、高齢者への年額パスのようなものも含めて検討し、充実したものにしていく。

#### 【意見】

- ・ 次期総合計画では「健幸都市」を掲げられているが、前提となるのは市民の生命だと思う。
- ・ ここ数年の夏の猛暑は異常であり、その対策は省エネやCO<sub>2</sub>対策だけでは限界があるので、総合計画の骨子の中には、緑地の拡大、保全、維持を入れて、積極的に進めていただきたい。
- ・ 土木工事費の積極的な予算の組替えにより、街路樹、公園を増やすなど、緑地の拡大、保全、維持に努めていただきたい。
- ・ 公益財団法人かながわトラストみどり財団を積極的に活用して緑地の保全に努めていただきたい。
- ・ 各地区において、まちづくり構想や申し合わせ、計画等が策定され、積極的に進めていただきたいとのことであると思うが、不動産業者が街に大きな集合住宅などを建てることになると、業者は、条例は守るがそれ以上のことは知らない、各地区の構想等に対応する義務はないとなってしまう。
- ・ 業者に対して、地元のまちづくりの構想等を守ること、納得できる説明をす

ることを義務付ける条例を制定するなどを検討していただきたい。

【市長】

- ・ 緑地保全については、県とも協力して対応していきたいと考えている。
- ・ 問題なのは、手付かずの緑だと思っており、ゴミなどが投棄されてしまうことにも繋がり、ある程度管理が必要と考えている。
- ・ 人と自然が調和した場所として、緑を保全し、皆さんに喜ばれる場所にすることを考えていきたい。
- ・ まちづくりに関しては、大規模開発に関しては、地域に説明をするようにということになっているが、小規模の場合は難しい場合があるかもしれない。
- ・ そのような場合は、内容に応じて担当課から業者に対応をさせていただくので、担当課に相談して欲しい。

【意見】

- ・ 教育現場の改善について3つ提言したい。
- ・ デジタル化について、未だにプリントが子ども経由で情報発信されている。
- ・ 保護者のモンスター化について、全ての教員が正しいとは言わないが、学校現場では対応に限界が出てくることもある。
- ・ 限度を超えている保護者に対して、市にバックアップするような組織があると教員も対応しやすくなるのではないかと感じている。
- ・ 収入の改善について、予算もあることなので難しいこともあると思うが、優秀な人に教員になってもらうためには、働く環境の予算など改善が必要と考える。

【市長】

- ・ 教員の業務は多様化していて提出物なども非常に多く、子どもたちと接する時間が少なくなっていることもあり、デジタル化により業務負担を軽減していく。
- ・ 保護者と学校の対応については、子どものことを最優先に考え、お互いが歩み寄り解決することが最善と考えるが、一線を越えてしまう保護者に対しては、スクールロイヤーに相談して毅然とした対応をとる必要があると考えている。

【意見】

- ・ 学校や市役所のデジタル化について、デジタル化する際のリテラシーがなく、情報漏洩やネットワークで情報を共有すること、業務を効率化することが一緒くたに語られている。
- ・ 子ども達には一人一台パソコンを配られて授業をしているが、教育現場や教育委員会をはじめ、役所の方々はITリテラシーを理解させるための研修をして欲しい。
- ・ 学校や市の窓口における、情報漏洩や個人情報保護に関して、強い不安と危機感を抱いている。

【市長】

- ・ 教育現場も市の職員も I T に関する研修はしているが、さらに理解が深まるようにしていく。
- ・ 教育現場のデジタルに関しては、Y o u T u b e や T i k T o k の情報を鵜呑みにしてはいけないことも注意喚起していきたい。
- ・ ご意見については、市と教育委員会にお気持ちと共にお伝えする。